

湯楽里館

Yurarikan
(長野県東御市)



外観

本日は会社を休み、アサマ 2000 へやってきた。アサマ 2000 では 1,000 円を支払えばポールバーンが一日滑りたい放題になる。一人で黙々と練習するつもりなのだ。8:30 から滑り始め、15:00、適度に疲れがたまったところで終了。その後、翌日以降にレーシングキャンプがある峰の原へ向かい、その途中にあるこの湯楽里館に立ち寄った。

湯楽里館の隣にはレストランと物産センターがあり、湯楽里館とともに東御市の公社が運営しているようである。観光と地域振興の目玉なのだろう。

湯楽里館の中に入るとすぐに券売機がある。ここでチケットを購入してフロントに渡して入場。土産物屋、大きな休憩室、通路を通り過ぎ、脱衣室へ。脱衣室にはロッカーがなく、籠に脱いだものを入れる。したがって、貴重品がある場合は、途中の通路にある貴重品ロッカーを利用しよう。100 円硬貨が必要だが、使用後に戻ってくる。

浴室に入る。内湯の浴槽は 3 つだ。一番大きな浴槽は 40 人ほどが入れる大きさだ。端には滝があり、豊富な湯が常時供給されている。2 つ目の浴槽はイベント風呂。本日はミカンの皮を袋に入れて浴槽に浮かべてある。血行が良くなる効果があるという。定員は 7~8 人くらいである。3 つ目の浴槽はジャグジー。定員は 6 人ほどだ。いずれの浴槽も湯温はややぬるめであり、長時間楽しむことができるであろう。

サウナは室内温度 104℃、定員は 8 人程度。定員に比べて室内空間が広い。サウナ近くにある水風呂は、恐ろしいほどの低温である。このためか誰も利用していなかった。

湯楽里館の最大の見せ場は露天風呂である。岩風呂で定員は 20 人ほどだろうか。眺望が抜群に良いことが自慢である。取材班が訪れた時は日が沈み、遠くに見える北アルプスの

稜線がオレンジ色に染まっていた。そして、既に暗くなった空との絶妙なグラデーションを心ゆくまで楽しむことができた。眼下に広がる夜景も素晴らしい。尚、露天風呂の湯温もややぬるめである。

洗い場は21か所。珍しいクルミ入りのリンスインシャンプーとボディーソープが具備されている。椅子は高さがあるので、膝への負担が少ない。

入浴後は休憩室へ。名物の成立（いぬだて）高原そばがお勧めである。

ちなみに湯楽里館の湯は単純温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進に効くという。

明日から仲間達と合流して2日間のレーシングキャンプだ。ちょっとした草大会もある。湯楽里館で、今日の疲れを癒し、明日からの英気も養うことができた。

- 名称：湯楽里館
- 所在地：長野県東御市和 3875 番地
- 電話：0268-63-4126
- 営業時間：10：00～22：00
- 定休日：無休
- 通常入浴料：大人 500 円、小人（小学生）300 円
- サウナ：あり
- サウナ内のテレビ：なし
- 取材日：2014 年 1 月 31 日（金）
- 取材：銭湯愛好会・東京支部